

希望の種

ふくおかNPOファイル

⑱

「仲間と集まってボランティア事業をしたい」。そんな時、相談に乗ってもらえる場所が皆さんの地域にあります。多くは、自治体からNPOへの委託、または連携により運営されているセンターです。宗像市の市民活動交流会館「メイトム宗像」にある市民活動・NPOボランティアセンターもその一つ。ここを市と協働で運営するのが中間支援組織（NPOを支援するNPO）「むなかた市民フォーラム」です。

目指すは「市民主体の地域づくり」。市民からの相談に

むなかた市民フォーラム

事務所＝宗像市▽電話番号＝0940(36)0311

メールアドレス＝munakata@mcforum.jp

応じてNPOの立ち上げや運営をサポートしたり、若者や子育て世代から地域活動の新たな担い手を掘り起こすための体験型講座を開いたりしています。

地域つなぐサポート

市が地域の活動団体向けに「人づくりでまちづくり事業補助金」にも関わっています。もともと申請書の受付窓口を担っていたが、本年度からは申請す

題を明確にしていくのが狙いです。市もフォーラムの意見を採り入れ、補助金を「チャレンジ支援型」「自由提案型」「行政テーマ型」の3種に分けるなど、団体の規模や

リニューアルするなどの効果も表れました。「自分たちが大切にしたい価値観は何か」「市民が求めているものは何か」。フォーラムは市職員などを対象にした研修も行いますが、スタッフ自身も同じ自問自答と分析を繰り返し、地域に向いて利用者のニーズをつかむためのヒアリングを続けています。フォーラムの新事務局長に就任予定の雪松直子さん(37)は「サポートを行う私たち自身も一つの団体として、同じ立場と目線で、みなさんと一緒に考えて一緒に成長していきたい。そのためには、まず私たちがどんどん、新しいことに挑戦していく必要がある」と話しています。



研修で自らのスキルアップに取り組むスタッフら

る団体に企画書の内容やプレゼンテーションの方法をアドバイスする事業にも乗り出しました。

成長段階に合わせて選びやすいうように制度を改正しました。フォーラムの発足は2002年。当初は生涯学習講座の実施など、どちらかといえば行政側のニーズに合わせて設立された団体でした。07年に現在の中間支援組織に移行し、11年度からセンターの運営に携わっています。

現在のスタッフは5人。2年前に20、30代の3人が加わったことで、デザインが得意なスタッフを中心に広報紙を

原則毎週月曜掲載